

リレートーク No.27



Team HINATA
代表 真霜 多美子
(ましも たみこ)

ダンスレッスンで子ども達にリズム感や表現力、協調性や競争心を。福祉施設へのダンス訪問を通じて、様々な個性や困りごとを抱えた人たちとの触れ合い助け合いの精神や思いやり、生き抜く力を学んでいく。子どもたちの豊かな心を育み、地域で支援を必要としている人たちに貢献することを目指しています。

Team HINATA
のサイトへの
アクセスはこちらから



リレートークとは：
鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思っています。是非、お知らせください。

ダンスを通じて楽しく明るい福祉活動を

最近では家族、働き方、子育ての形も様々で、家庭の事情で子どもの習い事が自由に通わせられない状況があります。そんな中、私たちは「できる事は、できる人がやる」「できる時に、できる事をやる」そこに「やってあげる」という思いをなくそう。みんなで助け合おう。もちろん、やりすぎたら疲れちゃう、やってもらいすぎたら恐縮しちゃう。だから「自分ができること」をやる。そして困ったらちゃんと「ヘルプ！」を出せる関係でありたい。この気持ちに賛同するメンバーで、試行錯誤しながら楽しく自分たちで形を作っていこうと思い、キッズダンスチームを始めてみました。そして、せっかくダンスをするなら、子どもたちに生きぬく力をつけてもらいたい！人のためにダンスをしていきたい！ダンスで周りを明るく元気にしていく活動を目的に2016年に団体を結成しました。

主に週1回レッスンを積んで、発表会や福祉施設などでの訪問ボランティアパフォーマンスを行っています。この活動から私たちの団体の福祉としてのすそ野が広がり、ハンデのあるお子様へ向けたダンス療育クラスや、チャリティイベント「ハピネスFestival」の発足へとつながりました。



「ハピネスFestival」は、ダンスを通して、難病と闘う子ども達や、自然災害による被災など「今」支援が必要な人たちを応援することを目的に2021年にスタートしました。今年は、市との協働事業“エール事業”に採択され、5月に大船中学校で開催することができました。福祉に関わる多くの団体の出店やステージパフォーマンスやパラスポーツ体験などを行い、予想をはるかに上回る1,400名近い方のご来場で大盛況となりました。

そして次回、**11月26日（日）に御成小学校**で開催が決定しました！ご賛同いただける福祉施設・団体を大募集！また福祉施設の活動内容についての展示や、制作物・製品の販売、委託販売など、柔軟に対応しております。ぜひお気軽に相談ください。



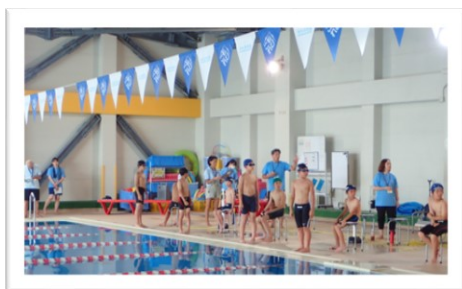
このイベントを通じて、福祉にまつわるあらゆる垣根を取り払い「福祉施設の自立」や「楽しい福祉」などを軸に、インクルーシブ社会の確立を目指しています！

夏休み!! 高校生 ボランティア体験活動リポート

鎌倉水泳協会

鎌倉水泳協会は2つの事業に高校生ボランティアを受け入れました。1つは小学3年生から中学生の市民水泳教室です。指導員について潜れない子のアシスタントをしてもらいました。受講生は年が近いので親しみやすいようです。

2つめは市内小学校対抗の学童水泳大会です。会場設営・競技役員の補助・パソコン入力など運営のお手伝いをしてもらいました。暑い室内で共に活動し終了した時に見せた顔は達成感に満ちていました。私共も異世代交流が出来る貴重な時間となりました。



恒例となった高校生のボランティア体験学習。ご協力いただいた受け入れ団体さんからのメッセージと参加した高校生からの声をピックアップしてお届けします。



水泳大会がどのような支えで成り立っているのか知りたい、体験したいと思って希望しました。

当日は進行表示係を担当しました。みんなが私の書いた表示をみて確認している姿をみて、誰かの役に立っているんだなと実感がわき、嬉しかったです。

シェアハート鎌倉

障害者や引きこもりの方と一緒に、東北応援物産展で商品の陳列・販売のボランティア体験をしてもらいました。初めての販売業務、またさまざまな年齢の方との触れ合いも初めてで、やや緊張気味の様子でした。

一緒になったボランティアの先輩方と進路の相談をする機会もあったり、学校ではできないような経験ができたと思います。学生時代にさまざまな世界を知ることとても大事です。暑さとの戦い！もあり、お疲れ様でした。



無事に終わってほっとしています。

東北の支援だけでなく物販という社会経験ができると感じ希望しました。実際に活動してみて、自分たちで物売ることを大変さを実感しました。ボランティアで参加している他の方々から東北のお話を伺うことができただけでなく、お客様も購入目的を話してくださり、とても興味深かったと同時に、東北との繋がりも感じました。震災から12年、自分たちの記憶も薄れていきますが、絶対に忘れてはいけないと思いました。



公益財団法人 鎌倉風致保存会

緑地や史跡地の維持管理活動で、主に大鎌や刈込ばさみを使っての草刈りを体験してもらいました。厳しい暑さの中で、慣れない大鎌や刈込ばさみを使っての草刈りは大変だったと思いますが、真剣に取り組んでいる様子が伝わってきました。これからも、いろいろなボランティア活動に参加して、様々な人との出会いを通じて、新しい自分を見つけてください。



今までに体験したことのないボランティアだったので、新しく挑戦してみようと思い参加しました。自然の中で活動するのも新鮮で、とても楽しかったです。草刈りは思っていたより大変で、たくさん汗をかきながらやったけど、終わった後の達成感も凄くあって、やりがいを感じました。たくさんの方の力で、鎌倉の山を守っていると感じられて、とても良い経験になりました。

助成金



いつの時代も団体の活動資金を集めるのには苦労がつきもの。協賛金、活動を応援してくれる人を増やすファンづくりやクラウドファンディングなど、いろいろな事例を経験談としてご紹介していきます。資金調達のご参考にしてみてくださいは？

おもちゃDrsかまくら

おもちゃの修理を通じて、利用者親子とのコミュニケーションを図る中で、モノの命を大切に作る気持ちを育て、思いやりのある社会づくりに貢献しています



昨年のかまくらファンドで希望金額満額を見事GET!
細かな部品作りのため3Dプリンター購入が目的と伺っていますが・・・



Q：かまくらファンドを申請した理由を聞かせてください。
A：年間運営資金を上回る3Dプリンター価格は、普通に考えれば購入は無理でした。ファンド資金が確保できれば、新しいチャレンジ事業ができたと思いました。

Q：申請した金額は？

A：70,000円です。獲得した額も満額70,000円です！

Q：ファンド金の使い道を教えてください。

A：ちょうどamazonブラックフライデーにかかり、定価7万が39,000円で入手できました。残りの金額は、3Dプリンターのためのソフトをインストールするため中古PCを購入、スキルアップのため3Dプリンター講習会の受講費に充てることができました。さらに残りで長年使っている半田こて12丁そっくり買換えのおまけも！amazonブラックフライデーで値打ちに購入できたのは嬉しい想定外でした。

Q：実際にご利用されていますか？

A：定期開催のおもちゃ病院で大活躍です。
メーカーが出荷してくれない部品を作ることができ、今まで直せなかったおもちゃを元気にすることができています！



5月27日開催の市役所イベント『ONE DAY PLAYPARK』にて



大活躍の3Dプリンター

こちらNPO相談室

Cho-co-tto



NPOセンターに寄せられるさまざまな質問や相談をちょこっと解説するコーナーです。



NPOは利益を得てはいけないの？

営利を目的としない非営利組織のことをさすNPO。では、営利を目的としないならば、サービス等を行うときに、無償や安価で行わないといけなののでしょうか？結論から申しますと、もちろん、そんなことはありません。

NPO法人の場合でいえば、営利を目的としないとは、利益を構成員で配分しないという意味で、株式会社でいうところの株主への配当を行わないということです。収益は、事業費や人件費・交通費などの必要経費に充て、残りの剰余金は、配分せずに次年度の活動へと回せばよいのです。

高い志によってメンバーの持出しなどで始めた活動であっても、継続するには活動資金の調達は重要な要素となってきます。事業を大きく発展させて、自分たちの活動によって利益を受ける人々が増えていくように、また、活動内容がさらに良くなるように、NPOであってもどんどん収益をあげてよいのです。（A.N.）

新規登録団体のご紹介（6月～8月）

湘南・海のようにえん スイミーズ

青空自主保育で20年間保護者として子どもたちと過ごす中で、海で自由な発想をし新しい遊びを次々と生み出し楽しんでいる様子を見て、多くの事を学びました。多くのことを授けてくれる海で過ごすすばらしさを、多くの人々に知ってもらえたら嬉しいです。

<https://swimmyes.org/>

鎌倉ピックルボールクラブ

ピックルボールはアメリカ発祥のスポーツ。卓球・テニス・バドミントンを元に考えられた競技です。子どもから中高齢の人まで幅広い世代の人々が楽しめる「生涯スポーツ」です。是非お気軽に試しに来てみてください！初心者の方の体験、大歓迎でお待ちしています♪

<https://jpbl.org/>

七七支援隊

東日本大震災以後 宮城県七ヶ浜町の復興に関わり関係構築を行なってきました。鎌倉でも予想される災害発生時、そして平時にも10年以上東北から学んだ知見をもとに鎌倉の防災に対する啓発事業・復興に携わることができるメンバーが多数在籍しています。<https://77shientai.com/>

ちょっと小耳に、おじさんずトーク

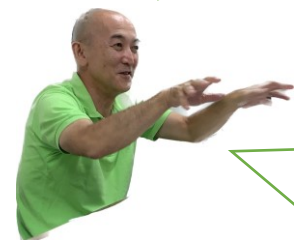


西畑センター長

西畑：5月からスタートした月2回のNPO相談会、最近は特に個人の相談も増えてきてるね。社会との接点を築くはじめての一步として、仕事ではなくボランティア活動を希望する人とか、コロナでワークスタイルが変わって地元にいる時間が増え、地域に関心を持ち始めた人とか。

今年は、鎌倉も大きな被害を受けた関東大震災から100年という節目の年でもあるけれど、市民活動と防災って意外と近い関係にあると思わない？

被災したあとに復旧が早いのは元々地域の力（レジリエンス）が強いところだと聞くし、つまるところ助け合える地域のつながり、日頃からの顔の見える関係性がそこにどれだけあるか、。。。。



コミュニティ、居場所、子育て、助け合い、コミュニケーション、孤独・孤立支援など関係性の問題ってどれも市民活動の課題と共通していませんか？

普段の市民活動を「防災」の視点から見直してみると、いざという時に自分たちに何ができると、そういうことをあらためて考える場、これから備える行動につなげる場にフェスティバルをしたいと思うのですよ。もちろんフェスティバルなのでみんなで参加して、楽しみながら、ね。



菊田センター長補佐

菊田：気軽にセンターに来てほしいし、ここが相談できる場所って知ってもらいたいですね。市民活動に参加する層をもっと広げていきたいです。

そこで、市民活動に関心をもってもらうためのイベント「かまくら市民活動フェスティバル」ですね。今年のテーマはズバリ「防災・減災」。

訓練とか制度や仕組みを作ることは行政だけど、地域の課題として、日常的に市民活動が取り組めること、いざというときに貢献できることがありそうですね。

自助・共助・ご近所って言いますよね。



第25回 かまくら市民活動フェスティバル

12月2日（土）3日（日）鎌倉生涯学習センターにて開催。出展団体の募集開始は10月から



NPOセンター鎌倉：〒248-0012 鎌倉市御成町18-10 鎌倉市役所 第2分庁舎
TEL/FAX：0467-60-4555 E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船：〒247-0061 鎌倉市台1-2-25（たまなわ交流センター1階）
TEL/FAX：0467-42-0345 E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

登録団体数：324団体
令和5年9月1日現在

※登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）に変更があった場合は、速やかにお知らせください。